

平成27年（2015年）9月16日外部評価実施

緑地地域包括支援センター（中東部圏域）

## 「評価結果の概要」

### センターが把握している圏域の特徴

総人口：49,349  
高齢者人口：11,787  
高齢者率：23.88%

中東部圏域は地形的に南北に長い圏域となっています。センターの位置する圏域北部はマンションや戸建てが多く混在し若い世代も多く居住しています。センターから少し離れた圏域南部には文化住宅や独居世帯も多く、異なる地域課題を抱えています。

### センターの取組方針や特徴

「地域との関わりを増やす」をテーマに、地域の社会資源を活用した取り組みを行っています。地域特性を考慮しながら圏域内の6小学校区全ての地域関係者と双方の連携体制を構築しています。また、医療と介護の連携については、高齢部会に医療従事者の参加を図り、居宅介護支援事業者と意見交換できるよう取り組んでいます。

### 総評

#### 【特に評価の高い点】

##### ●研修について

法人全体で職員の「教育研修計画表」が作成されており、センター独自の内部研修も年間計画に添って実施し、センターの業務が確実に進めるように専門性の向上に力を入れています。また、月例ミーティング等で伝達研修が実施されています。

##### ●総合相談について

法人の「業務改善プロジェクト」により「総合相談支援の流れ」を体系化し、フロー図に基づいて業務を行うことで、職員の相談対応力の均一化や向上を図っています。

##### ●介護予防事業について

2次予防事業対象者に対して、介護予防事業の必要性を説明するための独自資料を作成しています。

#### 【特に改善を求められる点】

##### ●センターの周知について

センター主催の地域教室の開催など、一部の自治会の掲示板にチラシを貼るなどの取り組みは行われていますが、情報提供にとどまらず、センターの事業や活動内容を知ってもらう啓発活動などに工夫が求められます。

##### ●公正・中立性の確保について

介護予防支援業務において、自法人が提供するサービス事業所に30%を超えた利用が見られ、公正・中立性の確保が求められます。利用者のサービス利用の選択肢を増やすうえでも今後の改善が求められます。

##### ●介護予防事業について

「2次予防対象者の介護予防事業不参加理由の評価、具体策についての検討」「基本チェックリスト未返信者訪問で得た情報を活用した地域実情の把握」などについて取り組むことが求められます。